

■ チャレンジ問題 ■ 小3 三学期内容（東京書籍・日本文教出版）

- (1) 金太郎くんが、お母さんと弟と、果物屋に来ています。これまでがんばって貯金したおこづかいで、好きな果物を、好きなだけ買うことにしたのです。果物屋で計算してみたところ、金太郎くんの持ってきたお金は、149円のりんごを29個買ったときの値段と、ぴったり同じだとわかりました。「おいしそうなりんごね」とお母さんは言うのですが、金太郎くんはどうしてもメロンが食べたくなり、りんごは買わず、953円のメロンを57個買いました。足りない分のお金は、弟が出してくれました。さて、弟は、金太郎くんのために、何円を出してくれたのでしょうか。
- (2) 5つの分数、 $\frac{7}{10}$ 、 $\frac{2}{5}$ 、 $\frac{3}{10}$ 、 $\frac{6}{5}$ 、 $\frac{3}{20}$ の大きさをくらべたときに、一番大きい分数と、一番小さい分数を、それぞれ答えましょう。また、大きい方から数えて、二番目の分数と、四番目の分数をあわせると、いくつになるのでしょうか。
- (3) $\square\square \times \square\square$ 、の□に1・2・3・4の4つの数字をあてはめて、式をつくり、計算します。“4つの数字のうち、使わない数字があってもよい”とすると、 44×44 を計算した、1936が、答えとして考えられる一番大きな数となります。では、“4つの数字をすべて使う”とすると、答えとして考えられる一番大きな数は、いくつになるのでしょうか。
- (4) えみりさんは石が大好きで、スペースの石を集めています。えみりさんの誕生日に、3人のお友達、みえさん、りえさん、えりさんが、あわせて18個もプレゼントしてくれたので、スペースの石は全部で84個になりました。喜んだえみりさんは、お返しに、3人のお友達に、キラキラの宝石をプレゼントしました。全部で24個の宝石をあげたので、残りは77個になりました。さて、えみりさんが、誕生日の前に持っていた、スペースの石と、キラキラの宝石は、それぞれいくつだったのでしょうか。わからない数を□として、式に表して、求めてみましょう。
- (5) 1辺の長さが4cmの正三角形を、折り紙に書いて、はさみで切り取り、10枚の“折り紙の正三角形”を作りました。次に、直径が8cmの円の中に、“折り紙の正三角形”を、重なることがないように、ならべていきました。円の外に出ないように、できるだけたくさんならべたとき、“折り紙の正三角形”は、何枚ならぶのでしょうか。